

Master's Program

"Water-related Disaster Management Course of Disaster Management Policy Program"

修士課程

『防災政策プログラム 水災害リスクマネジメントコース』



1. コース開設の背景

洪水を始めとする水関連災害は、毎年世界中で発生しており、今後ますます厳しさを増すと予想されています（図1）。このような状況に対処するためには、途上国における専門家の育成が緊急の課題となっています。

この背景のもと、土木研究所内の組織としてユネスコの後援により設立された 水災害・リスクマネジメント国際センター（略称：ICHARM（アイチャーム））は、従来の研修・教育の経験と実績に基づき、さらに学習内容を充実させて、研修活動の柱の一つとして、修学期間1年間の修士課程『防災政策プログラム 水災害リスクマネジメントコース』を2007年に開設しました。これは政策研究大学院大学（GRIPS）と（独）国際協力機構（JICA）および（独）土木研究所 ICHARM の3者の連携により、水関連災害被害軽減の総合的計画立案、実践活動において、専門的な知識を持って活躍できる実践的人材を養成するコースです。

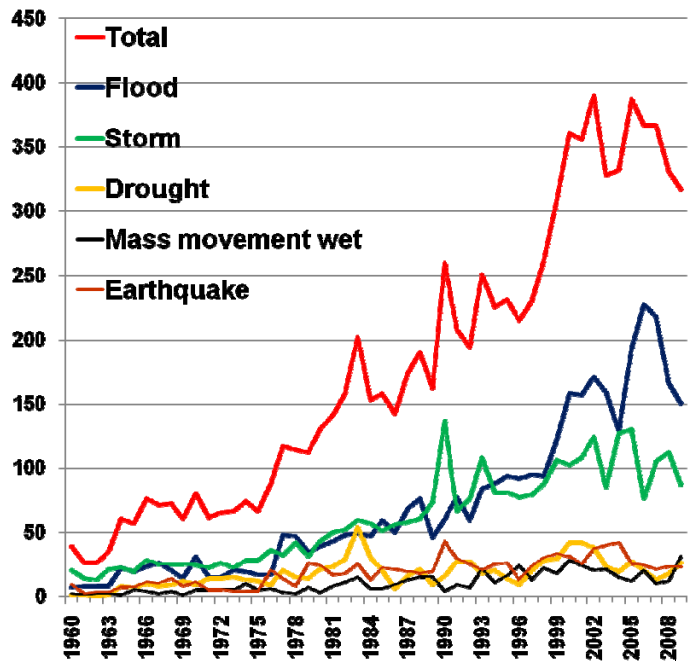


図1 増え続ける水関連災害数
(EM-DAT のデータから ICHARM 作成)

2. コースの概要

- ◆ コース名：修士課程『防災政策プログラム 水災害リスクマネジメントコース』
- ◆ 実施主体：政策研究大学院大学（GRIPS）、（独）国際協力機構（JICA）、（独）土木研究所 ICHARM
- ◆ 講義言語：英語
- ◆ 特徴：
 - 途上国の公的機関の防災担当者と共に修学でき、人的ネットワーク形成に役立てることが出来る
 - 自国の問題の解決策を提示できる能力を向上させる『課題解決型』プログラム
 - 『1年で修士号』を取得できる
 - 『理論より実務』を重視する
- ◆ 費用：修学のためには検定料・入学料・授業料が必要です。詳細は「3. 募集要項」をご覧ください。
- ◆ 講師陣：国内外における、水関連災害軽減の総合計画立案や実践経験のある研究者、技術者、行政官など。主に国土交通省・土木研究所・ICHARM の職員や大学教授など。
- ◆ コーススケジュール：修学期間1年（10月開始、翌年9月終了）

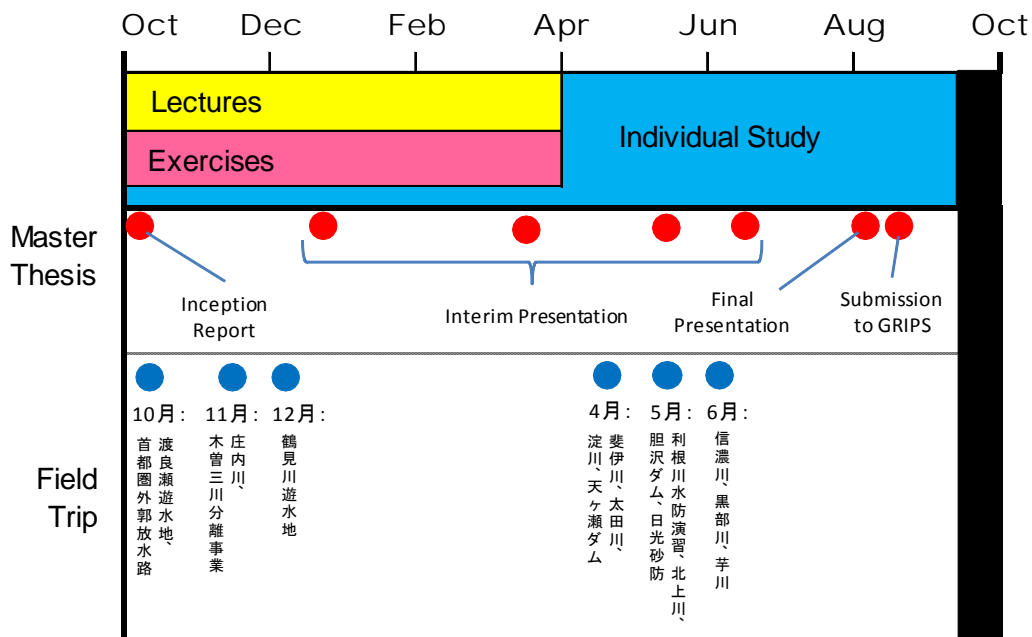


図2 コーススケジュール実績（2009-2010 コース）

◆ カリキュラム：

必修科目 10 単位、推奨科目から 16 単位以上、さらに選択科目をあわせて計 30 単位以上修得。

区分	科目名	教官	単位	必要単位
I. 必修科目	Individual Study		10	30
II. 推奨科目	Disaster Mitigation Policy	森地 茂 教授 (政策研究大学院大学)	2	
	Disaster Risk Management	岡崎 健二 教授 (政策研究大学院大学)	2	
	Basic Hydrology	ジャヤワルデナ 研究・研修指導監 (土木研究所 ICHARM)	2	
	Hydraulics	石川 忠晴 教授 (東京工業大学)	2	
	Basic Concepts of Integrated Flood Risk Management(IFRM)	竹内 邦良 センター長 (土木研究所 ICHARM)	2	
	Local Disaster Management and Hazard Mapping	田中 茂信 グループ長 (土木研究所 ICHARM)	2	
	Urban Flood Management	工藤 啓 上席研究員 (土木研究所 ICHARM)	2	
	Advanced Hydrology	ジャヤワルデナ 研究・研修指導監 (土木研究所 ICHARM)	2	
	Flood Hydraulics and Sediment Transport	福岡 捷二 教授 (中央大学)	2	
	Mechanics of Sediment Transportation & Channel Changes	江頭 進治 技師長 (株)ニュージェック)	2	
Sustainable Reservoir Development & Management	松本 徳久 顧問 (財)ダム技術センター)	2		
Control Measures for Landslide & Debris Flow	池谷 浩 理事長 (財)砂防・地すべり技術センター)	2		
III. 選択科目	Computer Programming	佐山 敬洋 研究員 (土木研究所 ICHARM)	1	
	Practice on Hydraulics	石川 忠晴 教授 (東京工業大学)	1	
	Practice on Local Disaster Management Plan	田中 茂信 グループ長 (土木研究所 ICHARM)	1	
	Practice on Advanced Hydrology	ジャヤワルデナ 研究・研修指導監 (土木研究所 ICHARM)	1	
	Practice on Flood Hazard Modeling & Flood Forecasting	深見 和彦 上席研究員 (土木研究所 ICHARM)	1	
	Practice on Sustainable Reservoir Development & Management	松本 徳久 顧問 (財)ダム技術センター)	1	
	Practice on Control Measures for Landslide & Debris Flow	池谷 浩 理事長 (財)砂防・地すべり技術センター)	1	

◆ 国別入学者数

	Bangladesh	China	Colombia	Ethiopia	Guatemala	India	Indonesia	Japan	Myanmar	Nepal	Pakistan	Philippines	Sri Lanka	Thailand	Total	(内、学位取得者数)
2007-2008	2	3				1		3		1					10	10
2008-2009	2	2		1			1			1				2	9	7
2009-2010	2	1		1			3	1	1			1	2	1	13	12
2010-2011	2	2	1		1		1		1	3	1				12	

3. 募集要項

(平成 22 年度版。最新の情報は政策研究大学院大学ホームページ(<http://www.grips.ac.jp/index.html>)でご確認下さい)

1. 募集人員	若干名
2. 出願資格	次の(1)~(3)の要件を全て満たす者とする。 (1) 教育関係 ● 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 83 条に定める大学を卒業した者又は平成 22 年 9 月までに卒業見込みの者 等 (2) 推薦状関係 ● 官公庁、会社等に在職のまま本学に入学することを希望する者で、所属機関の長の受験許可書及び本人の能力を評価することができる者 2 名により作成された推薦状を提出することができる者 等 (3) 英語関係 ● TOEFL-iBT 79 点 (Paper-Based Test の場合 550 点)、IELTS 6.0 又は TOEIC760 点相当以上の英語能力を有する者
3. 選抜方法	1 次選考：書類選考、2 次選考：筆記試験(論文)及び面接
4. 試験日程等	出願期限 6 月中旬 → 1 次選考 7 月上旬 → 2 次選考 7 月中旬 →合格発表 7 月下旬
5. 出願手続	入学志願票(履歴書含む 2 ページ)、職歴詳細、受験票、写真票、推薦状(2 通)、成績証明書、自己推薦書、英語能力を証明する書類、健康診断書 (以下該当者のみ) 受験許可書、卒業(又は修了)見込証明書、外国人登録証明書の写し 提出方法は持参あるいは郵送。
6. 試験場所	東京都港区六本木 7-22-1 政策研究大学院大学
7. 授業料等	検定料：30,000 円、入学料：282,000 円、授業料：(年額) 535,800 円
8. 書類提出・問い合わせ先	政策研究大学院大学 アドミッションズオフィス 〒106-8677 東京都港区六本木 7-22-1 TEL：03-6439-6046 FAX：03-6439-6050 E-mail：admissions@grips.ac.jp

4. 卒業生の声

Mr. Partha Pratim Saha (Bangladesh, 2009-2010)



This course is a very effective course for the professional engineers who deal with water related disasters. Apart from the classes this course includes many study tours at different water related structures of Japan which gives the participants an idea about the disaster history and the mitigation measures taken by Japan. As a participants of this course I have learn a lot which will be very fruitful for my future career.
I hope future participants will extract as much as possible from this course and will contribute to the respective country after completion of this course.

Mr. Shiro Hishinuma (Japan, 2009-2010)



This course is tough. We have been stretched through lectures, exercises, field visits, and individual study. However, I'm sure that all the requirements have developed our capacity of water related disaster management. This master course is unique. Participants from different countries gather in Japan and spend one year. Discussion with other participants helps me understand diversity. This master course is being improved. I appreciate that ICHARM staffs always try to improve contents and learning environment of the master course based on our feedback.
To new comer friends, I leave a message that participating in this master course must be an investment for your future and your country's future. Study hard and enjoy Japan!

5. 博士号を取得することをお考えの方へ

- コース名：博士課程『防災学プログラム
(Disaster Management Ph. D. Program)』
- 実施主体：政策研究大学院大学、(独) 土木研究所 ICHARM
- 標準修了年限：3 年 (ただし成績優秀者は 2 年間で修了可能)



【このパンフレットに関する問い合わせ先】

〒305-8516 茨城県つくば市南原 1-6

(独) 土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター (ICARM : アイチャーム) 国際普及チーム

TEL 029-879-6809 FAX 029-879-6709 Email training.icharm@pwri.go.jp